

薬薬連携 がん化学療法セミナー

2024年3月22日

札幌禎心会病院 太田 明秀

※一部非公開ページがあります



大腸がん化学療法の基本知識



ステージ分類

- リンパ節転移なし・遠隔転移なし Stage I or II
- リンパ節転移あり・遠隔転移なし Stage III
- リンパ節転移どちらでも・遠隔転移あり Stage IV

	M0				M1		
	N0	N1	N2a	N2b,N3	M1a	M1b	M1c
Tis	0						
T1	I	IIIa			IVa	IVb	IVc
T2			IIIb				
T3	IIa						
T4a	IIb		IIIc				
T4b	IIc						



治療成績

部位別累積5年生存率(%)

	I	II	III	IV
全部位	93.0	88.2	78.5	33.4
結腸	93.0	88.8	80.6	33.0
直腸	93.3	86.9	74.2	34.1

大腸癌治癒切除後のStage別再発率と術後経過年数別累積再発率(%)

Stage	再発率	累積再発率			術後5年 以降の再発率
		3年	4年	5年	
I	5.7	73.7	80.7	91.2	0.4
II	15.0	86.0	94.2	97.7	0.3
III	31.8	86.7	92.0	96.5	1.1

※再発時期不明例91例は累積再発出現率では除外



治療アルゴリズム～術後補助化学療法～

1. StageⅢの結腸がんで実施することで再発抑制
効果と生存期間が延長する。術後4～8週ごろまでに開始して、6か月間
投与が標準。
2. StageⅡ結腸がんで再発高リスク群では適用を検討する。
※廓清リンパ節12個未満、T4例、穿孔例、低分化腺
がん、印環細胞がん、粘液がん
3. FOLFOXに対する分子標的薬の上乗せ効果は認められていない。

◎再発低リスク(T1-3かつN1)の場合
CAPOX3か月でもOK



治療アルゴリズム

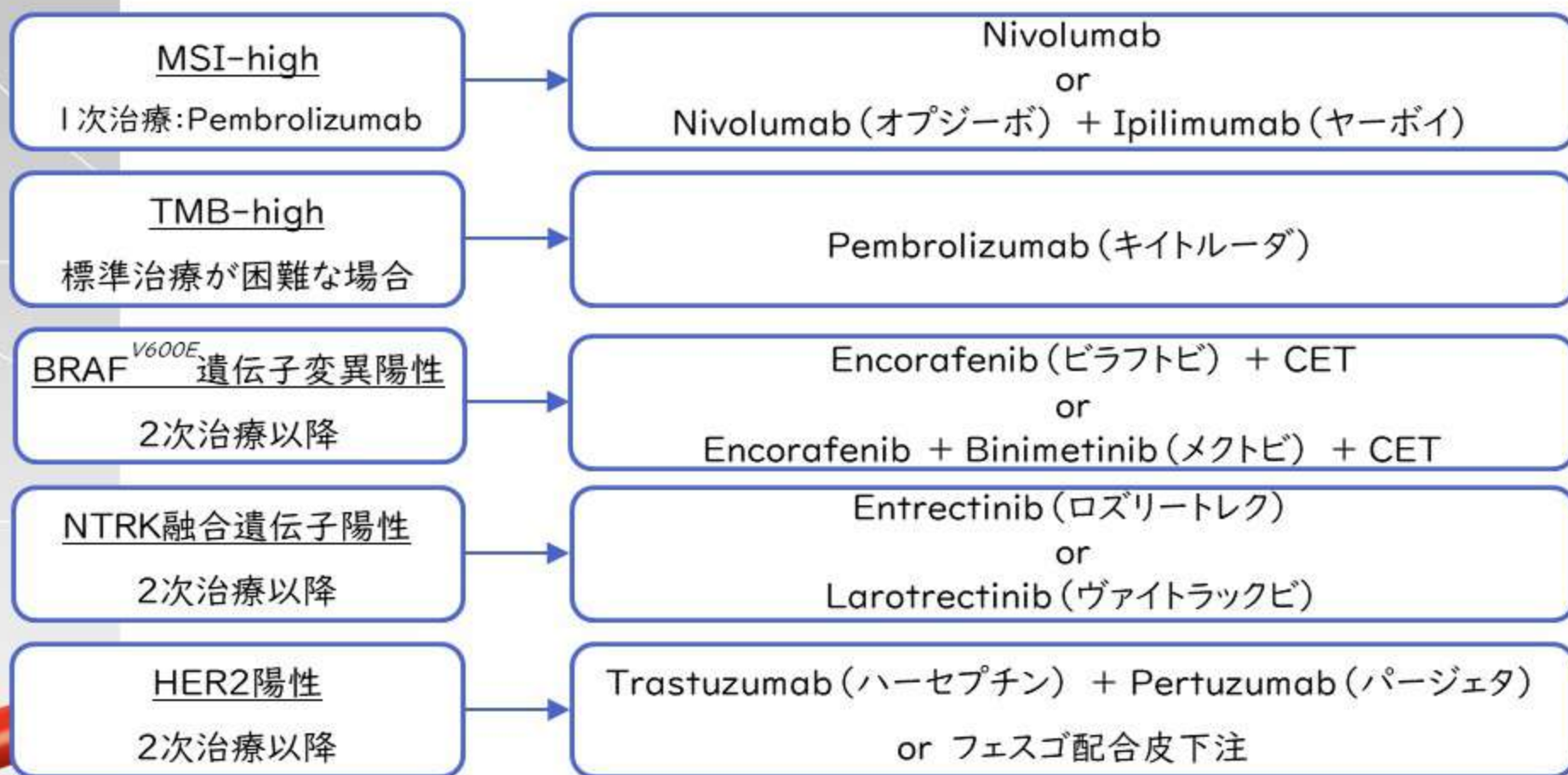
～切除不能進行再発大腸がんに対する化学療法～

『大腸癌治療ガイドライン』医師用2022年版 参照



治療アルゴリズム

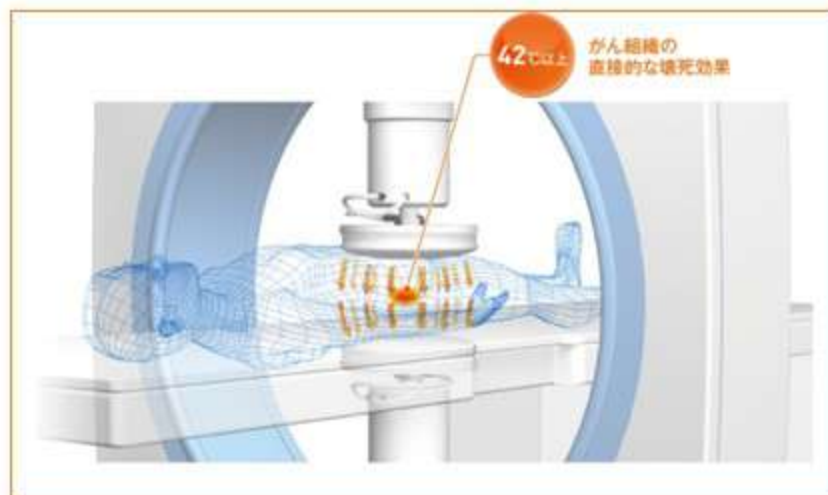
～切除不能進行再発大腸がんに対する化学療法～



FU/LV+B-mab

- 通常は「Vulnerable※（問題がある）」の患者で使用するレジメン
- 当院では…

温熱療法（ハイパーサミア）と相性が良いということで使用している
（特に、bolus 5-FU）



※Vulnerable: 薬物療法の適応に問題がある患者



お知らせ



ホームページがリニューアルしました



札幌心臓病医院

診療される方 **診療科・部門** 入院・お見舞いの方 病院について 検索

札幌心臓病医院

診療科 部門

① 看護部 ② リハビリテーション部 ③ **薬剤部** ④ 放射線部 ⑤ 臨床検査部 ⑥ 臨床工学科

札幌心臓病医院

当院薬剤部では、患者さんの安全で最適な薬物療法を提供するために、様々な医療現場で薬剤師が活動しています。内科、外科、看護部、薬品情報センターなどのセクションで活動していること、すべての薬剤師が西薬での薬剤師資格を持っています。また、薬剤師、薬剤師、がん薬剤師、緩和ケア、中毒サポート、感染対策、感染などといったチーム医療にも積極的に参加しています。それぞれの薬剤師が患者さんや他の医療スタッフから信頼され、活躍できる薬剤師となることを目指し活動しています。

「薬のあるところに薬剤師あり」を合言葉に、薬剤師の専門性を生かし、変化を続けている医療へ様々な形で貢献ができるよう研鑽に努め、研鑽していただけるように、スタッフ一人一人が取り組んでいます。

診療科

⑦ **保険調剤薬局へのお知らせ**

保険調剤薬局へのお知らせ

当院では、令和5年3月より、院内処方箋に係る経費負担や経費負担等の形式的な負担をなくすことにより、保険調剤薬局での患者さんの待ち時間短縮や処方調剤の負担軽減を目的として、「院内処方箋における調剤委託化プログラム」を導入しています。

これは、厚生労働省が調剤委託化（調剤委託）の導入によるチーム医療の推進について（平成22年4月30日）に基づいたものです。本プログラムを導入するため、調剤委託にあたっては、当該調剤委託プログラムの趣旨や各項目の詳細について説明を受けた上で、調剤委託を受けることを必須条件としています。希望される保険調剤薬局は下記までご連絡ください。

⑧ プロトコル

当院でのレジメン

⑨ **当院でのレジメン一覧**

過去の薬業連携勉強会の資料

令和5年度